

一般社団法人日本解剖学会2025（令和7）年度第6回理事会議事録

日 時：2025（令和7）年7月2日（水）19:00～20:00

場 所：Web会議

参加者：仲嶋 一範（理事長）、池上 浩司、大和田 祐二、堀 修、宮田 卓樹（以上、常務理事）、天野 修、吉田成孝、徳田信子、寺田純雄、岡部繁男、飯野哲、八木秀司、大内淑代、菱川善隆、高山千利、野中直子、藤山文乃（以上、理事）、秋田恵一、尾崎紀之（以上、監事）、岡部正隆、竹林 浩秀、日置 寛之（以上、常任幹事）、伊藤 杏佳、中村 聡（以上、口腔保健協会）

I. 理事長 挨拶

仲嶋理事長より、APICA招致に関する早急な審議の必要性により、第6回理事会を臨時で開催することになった旨の説明があった。APICAは、アジア太平洋地域における解剖学振興を目的として日中韓の発議によって1996年に第一回が開催され、各国をまわって二巡目に入ってきていること、コロナ禍を過ぎて人的交流や研究協力の再活性化を図るべき時期にきていることなど、近年の状況を踏まえてAPICAを日本に招致する可能性について検討してきた経緯が説明された。

II. 議事録署名人の選任

定款第39条の規定に従い、秋田恵一監事、尾崎紀之監事を議事録署名人として選出した。

III. 審議事項

1. APICA招致についての件

第132回日本解剖学会総会・全国学術集会とAPICAを併催する可能性についての検討状況が、会頭の大内淑代理事から資料を使って説明された。その結果、2027年のAPICA第12回大会を日本に招致する活動を開始することが承認された。正式に日本開催が決まった場合には、通常の総会・全国学術集会開催のための助成金に加えて、特別事業積立金（一般口座）より200万円助成することとなった。

2. その他

特になし。

IV. 報告事項

1. CST事業の新法人体制の件

資料に基づき、CST事業の一般社団法人化に向けた新法人体制案を含む定款の内容に関する検討状況についての報告があった。

2. 臨床医学・歯学の教育及び研究におけるご遺体の取扱いに関する共同声明の件

仲嶋理事長より、これまでの経緯および現状について説明があり、資料に基づき共同声明案が報告された。この声明は、日本解剖学会、篤志解剖全国連合会、日本外科学会をはじめとする臨床系各学会に加えて、日本医学会連合、日本歯科医学会連合、全国医学部長病院長会議、歯科大学学長・歯学部長会議も発出者となっていることが説明された。

V. 懇談事項

新規入会にあたっては代議員推薦書の提出を求めているが、入会希望者に代議員の知己がない場合、支部長に推薦を依頼することになっている制度について意見交換が行われた。本件は常務理事会で審議し、具体的な対応策を理事会に提示することとなった。